

本日、平成30年度学位記授与式が挙行される、この良き日にあたり、公立大学法人富山県立大学を代表いたしまして、お祝いの言葉を申し上げます。

卒業生の皆様、ご卒業、おめでとうございます。大学院修了者の皆様、修了おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

また、卒業生ならびに修了生の学業や生活を支えていただきました、ご家族の皆様をはじめ、関係者の皆様にも、お祝いを申し上げますとともに、これまで、富山県立大学に対しまして、ご理解とご協力を賜りましたことに、厚く感謝を申し上げます。

また、本日は、富山県知事代理として山崎副知事様、県議会の笹岡経営企画委員長様はじめ県議会議員の皆様、射水市議会議長様、富山県機電工業会の谷川会長様、本学理事会の杉野理事様をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜りました。心からお礼申し上げます。

本学は、平成2年に開学し、平成27年に公立大学法人となりましたが、法人化にあたっては、県立の大学として、産業社会から求められる人材の育成と、若者の定着に一層貢献していくため、大規模な拡充計画を立て、工学部の入学定員を100名増員するとともに、医薬品工学科を新設するなど、学科の新設拡充を積極的に進めてまいりました。

また、かねてより富山キャンパスにおいて看護学部の開設準備を進めてまいりましたが、いよいよ来る4月に入学定員120名で運営を開始する運びとなりました。県民の皆様の期待に応え、質の高い看護人材の育成と若者の県内定着に貢献できるよう努めてまいりたいと存じます。

皆さんが入学された4年前の工学部の入学定員は230名でしたが、現在は330名になり、さらに来年4月には、電子・情報工学科を電気電子工学科と情報システム工学科に改編して定員を10名増やす予定ですので、新設の看護学部と合わせると、入学定員は460名と、これまでの2倍の規模になります。

こうした学生の増加に対応するため、大学としては、優秀な教員を確保して大幅に増やすとともに、9階建ての新校舎を建設するなど、キャンパスの整備を進めております。皆さんには、卒業までに新校舎の完成が間に合わなくて申し訳ありませんでしたが、来年の春に完成しますので、どうぞいつでも様子を見に来ていただきたいと思います。

このように富山県立大学は、より魅力ある大学を目指しておりますが、卒業生の皆様には、ここで学んだことを誇りとし、これからも母校への愛着を持って、県立大学の発展を見守り、ご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

今回の学位記授与式に併せて、学生の皆さんの母校に対する思いを歌にして、学歌を作成していただきました。後ほど披露していただきますが、卒業されてからも聞いたり歌ったりして、学生時代を思い出していただければ幸いに存じます。

今日は皆さん一人ひとりにとって人生の節目の日ではありますが、今日までの勉学や仲間との交流など、様々な体験を通じて、社会人として必要な基礎的な力をしっかり身に付けられたものと思います。

ぜひ自分に自信を持って、4月からの新たなスタートを切っていただきたいと思います。

そしてさらに研鑽に励み、自分の長所を伸ばし、短所を克服して、今後の人生を切り拓き、立派に成功していただきたいと念願しております。

改めまして、卒業生の皆様の大いなる前途を祝福し、ご参集のすべての皆様方のご健勝ご多幸を祈念いたしまして、私のお祝いと、はなむけの言葉といたします。

平成31年3月16日

公立大学法人富山県立大学 理事長 寺井 幹男

本日は、誠におめでとうございます。